

至 別府I.C・湯布院

至 明礬温泉・アフリカンサファリ



地獄蒸し工房 鉄輪

鉄輪では江戸期以前から用いられていた調理法「地獄蒸し料理」を体験できる施設。その他にも「冷却装置モニュメント」や「飲泉場」、鉄輪の歴史や、温泉、地獄などの情報を発信する「展示コーナー」も。隣のポケットパークには「足蒸し」や車椅子対応の「足湯」もあります。
 [開館時間] 9:00~21:00(蒸し釜の最終受付は20:00です)
 [休館日] 毎月第3水曜日(祝日の場合は翌日)
 [料金] 地獄蒸し釜
 基本使用料(30分以内)…500円
 延長使用料(10分又は端数を増すと)…150円
 回数券(30分以内10回券)…3,000円
 ※施設入館料や足蒸し、足湯は無料です。



鉄輪むし湯

鎌倉時代の建治2年(1276)に一過上人によって創設されたと伝えられています。現在の鉄輪むし湯は平成18年にリニューアルオープン。このむし湯は独特の形式をとっており、1メートル四方の木戸を開けて中に入ると約8畳ほどの石室があり、温泉で熱せられた床の上には石畳(せきしょう)という清流沿いにしか群生しない薬草が敷きつめられていて、その上に人が横たわります。石畳はすばらしい香りで、「豊後鉄輪むし湯の湯り、肌に石畳の香が残る」と詩人の野口雨情が詠っているほどです。
 [開館時間] 6:30~20:00
 [料金] むし湯500円
 Tシャツと短パンを持参
 またはレンタルの浴衣(210円)

かんたな温泉 散歩マップ



公園の中段には湯けむりのモニュメントがあり、芝生に覆われた最下段は散歩のスタートに最適です。

旧むし湯の石材を使用して作ったモニュメントがあり、この石材がいつ頃まで遡るのが興味深いところです。

「男はつらいよ〜花も嵐も寅次郎〜」のラストシーンの撮影が行われました。

この辺りは町歩きのコースにも入っていて嘗ては地獄巡りの一つもありました。

地獄釜や湯けむりが見える路地を更に進んでいくと、まるで迷路の中のようなです。

お寺の前の昔ながらの石段を上りつつ振り返ると、パノラマの風景が広がってきます。

別府駅・大分駅方面行きのバス待合所。うみたまご・高嶺山の入場券とセットになった割引往復乗車券も買えます。(問:0977-66-3868)

柑の名所です。春にはこの丘が柑色に染まります。